

■平成11年度 催物案内

土屋禮一(つちやれいいち)展大地から空へ—瑞龍寺(ずいりょうじ)本堂障壁画を中心に—

1999年4月6日(金曜)から5月9日(日曜)

岐阜県出身の日本画家・土屋禮一の最新作である瑞龍寺(岐阜市)本堂障壁画と、その制作のための素描や下絵のほか、近年の作品を併せて紹介します。

第53回 岐阜県美術展

一般部：5月22日から5月30日

青年部：6月3日から6月6日

少年部：6月10日から6月13日

一般部：日本画・洋画・彫塑・書道・グラフィックデザインの7部門からなる公募展

青年部：絵画・デザイン・彫塑・書道・写真の5部門からなる公募展

少年部：絵画・デザイン・書道の2部門からなる公募展

'99 岐阜 現代の美術

1999年6月22日(火曜)から7月25日(日曜)

前年度、めざましい活躍をした県内在住作家の話題作を紹介。日本画・洋画・彫刻・書・写真・デザインの6部門からその作品を選び紹介します。

フィリップス・コレクション所蔵 20世紀静物画の展開

1999年8月7日(土曜)から9月12日(日曜)

西洋の20世紀における、静物画の全体像を紹介するもので、アメリカの美術館フィリップス・コレクションが有する所蔵品から構成します。

没後50年—美の精華 上村松園(うえむらしょうえん)展

1999年9月21日(火曜)から10月17日(日曜)

没後50年を記念して、他に見ない気品の高さや精神性を持つ松園美人画の名品を通じて、松園芸術の美の精華と神髄を紹介します。

第14回国民文化祭・ぎふ99美術展

1999年10月24日(日曜)から11月3日(水曜・祝日)

全国から美術の創作活動に親しむ人々の作品を公募し、優秀な作品を展示することにより、新世紀に向けた新たな創造の喜びを促し、美術愛好者の創りだす美の世界の発表と交流の場とします。

在るということの不思議佐藤慶次郎(さとうけいじろう)とまど・みちお

1999年11月19日(金曜)から2000年1月16日(日曜)

「ぞうさん」の詩で知られるまど・みちおと、不思議な振動の世界を繰り広げる佐藤慶次郎の取り組みを、美術の領域を越えて紹介します。

飛驒の今昔(こんじゃく)―明治以降の新展開―

2000年2月4日(金曜)から3月26日(日曜)

豊かな文化的素地を持つ、飛驒の美術を紹介します。絵画・版画・写真の各方面より、今に脈々と伝わる文化の源を見定める機会とします。